

試合番号 : 476	試合会場 :	観客数 :		
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :		
NECレッドロケッツ	通算 4勝 1敗 ポイント : 11	25 第1セット 0	PFUブルーキャッツ	通算 0勝 5敗 ポイント : 1
監督コメント	3	25 第2セット 0	0	監督コメント
		25 第3セット 0		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート				
PFUブルーキャッツの試合出場見合わせのため、不戦敗と見なす。				

試合番号 : 477	試合会場 : 所沢市民体育館	観客数 : 831		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:14	試合時間 : 01:14		
日立リヴァーレ	通算 3勝 2敗 ポイント : 9	25 第1セット 13	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 1勝 4敗 ポイント : 2
監督コメント	3	25 第2セット 19	0	監督コメント
		25 第3セット 16		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート				
<p>V Cup予選ラウンドBグループ、日立リヴァーレとKUROBEアクアフェアリーズの一戦。第1セット、序盤から日立が中村、上坂の攻撃でリードする。KUROBEは舩田、浮島の攻撃で応戦するも、日立は長内、上坂の力強い攻撃で得点を重ね、セットを先取る。第2セット、KUROBEは津津にボールを集め、得点に結びつける。後半まで続く一進一退の流れを断ち切ったのは、19-17からの日立・入澤のサーブエースであった。KUROBEは立石の好守で立ちちはだかったが、日立・上坂の攻撃が決まり、セットを連取した。第3セットも日立のリードが続く。KUROBEは小西のツーアタックやリーのブロック、日立は入澤のブロード攻撃で一進一退の攻防となるも、最後は日立・野中が得点し、ストレートで試合を制した。</p>				

試合番号 : 478	試合会場 : 所沢市民体育館	観客数 : 844		
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:09	試合時間 : 01:39		
埼玉上尾メディックス	通算 5勝 0敗 ポイント : 15	18 第1セット 25	東レアローズ	通算 2勝 3敗 ポイント : 7
監督コメント	3	25 第2セット 16	1	監督コメント
		25 第3セット 16		
		25 第4セット 14		
		第5セット		
要約レポート				
<p>昨日、V Cupファイナルラウンド進出が決定しましたが、私達は気を抜くことなく全力で戦うことをテーマに試合に臨みました。第1セットは相手サーブに対応が遅れ流れが埋められましたが、第2セット以降は対応して私達の持ち味のオフェンスを機能させ勝利することができました。2週間、取り組んできた課題に対して、昨日は取り組みの成果を発揮することができました。すべて上手くはいきませんが、一つ一つ課題を克服してチームとして引き続き前進していきたいです。V Cup優勝を目指して選手、スタッフ一同努力していきます。応援よろしくお願いします。</p>				

試合番号 : 479	試合会場 : 島津アリーナ京都	観客数 : 504		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:01	試合時間 : 02:01		
デンソーエアリービーズ	通算 3勝 2敗 ポイント : 9	24 第1セット 26	久光スプリングス	通算 5勝 0敗 ポイント : 15
監督コメント	1	21 第2セット 25	3	監督コメント
		25 第3セット 23		
		19 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート				
<p>勝ってファイナルラウンドへ望みをつなげたいデンソーエアリービーズと予選ラウンド全勝を狙う久光スプリングスの一戦。第1セット序盤は競った展開となるが、相手のミスに乗りながら徐々にデンソーがリードを広げる。しかし、久光も両レフトのスパイクを軸に追い上げ、最後は逆転してセットを取った。第2セット、井上(愛)の連続得点で久光がリードするも、デンソーも粘り強いレシーブから多彩なコンビで点差を詰めた。しかし、最後は井上(愛)のスパイクで久光がセットを連取した。第3セットも序盤は久光がリードするも、兵頭のレフトからの多彩な攻撃や大竹のセンターからの速い攻撃でリズムをつかんだデンソーが逆転し、最後までリードを保ちセットを取り返した。第4セット、アキラデオのライトからの強烈なスパイクを中心とする久光に対し、デンソーは工藤、兵頭のサイドからの攻撃で点数を重ねたが、最後は久光が多彩な攻撃でセットを取り、勝利をものにした。</p>				

試合番号 : 480		試合会場 : 島津アリーナ京都				観客数 : 684				
開始時間 : 14:45		終了時間 : 16:47		試合時間 : 02:02		主審 : 北村 友香		副審 : 増岡 三佳子		
JTマーヴェラス		通算 4勝 1敗 ポイント : 11		25 第1セット 22		ヴィクトリーナ姫路		通算 1勝 4敗 ポイント : 3		
監督コメント	<p>昨日の試合から自分たちが何をしなければいけないのか、何が足りないのかを考え、今日の試合に臨んだ。1人1人が自分の役割をコートの中で果たし、勇気を持って戦うことでプレッシャーのかかる試合に勝利することができた。ファイナルラウンドでは臆することなく、チャレンジャーとして戦います。2日間ご声援ありがとうございました。</p>			3	30 第2セット 28		1	<p>最終戦でチャンピオンであるJTに挑戦できるということで、相手をリスペクトしつつも、全力で勝ちに行くという気持ちで戦いました。お互いディフェンスで粘り強く戦い、良いラリーの応酬も多く、持ち味を出せたと思います。ただ、スキル、フィジカル、メンタル全ての要素において、JTがチャンピオンであるのを見せられました。我々は、あのようなチームカルチャーを醸成させつつ、必ず追いつき、追い越せるように取り組み続けます。シーズンを通じて成長が見えた点も多く、それ以上に色々な学びを得られたことが、これからの糧になるはずです。このような大変な情勢の中、我々を支援してくださっている多くの皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>		
					22 第3セット 25					
					25 第4セット 12					
					第5セット					
					要約レポート					
<p>勝てばファイナルラウンド進出となるJTマーヴェラスと最終戦を白星で飾りたいヴィクトリーナ姫路の一戦。第1セット序盤、前衛からも後衛からも鋭いスパイクを打つ田中の活躍でJTがリードする。姫路も荒谷のブロード攻撃で追いつくが、終盤に西川が高さを活かした攻撃を連続で決め、JTが競り勝った。第2セット、姫路は田中のスパイクが芽え先行し、JTはフェイントを織り交ぜた攻撃で追いつく。後半は、速いサーブで攻めるJTに対して、両サイドからの幅広い攻撃で姫路も一歩も引かぬ展開を繰り広げたが、デイクで粘りを見せたJTがデュースを制し、セットを連取した。第3セット序盤、JTは多彩な攻撃を展開し先行するも、後がない姫路はセッター櫻井の巧みなトス回しで追いつき、終盤に荒谷、田中のスパイクで連続得点を重ね、JTを引き離してセットを取り返した。第4セットは、第3セットから出場した和田が活躍し、JTが大きくリードする。その後もJTは安定したブロックとりベロ目黒の堅い守りで流れを渡さず勝利し、ファイナルラウンドへ駒を進めた。</p>										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算		- 勝 - 敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				要約レポート					

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算		- 勝 - 敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				要約レポート					

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算		- 勝 - 敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				要約レポート					